

# 環境経営レポート

2024年12月1日

(2023年9月～2024年8月)



人と車と地球にやさしい ECO整備のさつき自動車

**Satsuki 株式会社さつき自動車**

## 目 次

|                        |       |     |
|------------------------|-------|-----|
| 事業活動の概要                | ..... | 1   |
| 環境経営方針                 | ..... | 2   |
| エコアクション21、責任体制・実施体制・役割 | ..... | 3   |
| 環境経営目標                 | ..... | 4   |
| 主要な環境経営計画の内容           | ..... | 5～6 |
| エコ整備のご案内               | ..... | 7～8 |
| 環境実績結果                 | ..... | 9   |
| 環境実績結果の評価              | ..... | 10  |
| 過去の実績結果（経年変化）          | ..... | 11  |
| 環境経営計画の評価及び次年度の取組内容    | ..... | 12  |
| 次年度（2024年度）以降の環境経営目標   | ..... | 13  |
| 環境関連法規への違反、訴訟等の有無      | ..... | 14  |
| 代表者による全体の評価            | ..... | 15  |



## 事業活動の概要

### ● 事業活動の概要

事業所名 株式会社 さつき自動車  
 代表者名 代表取締役 四ノ宮 剛史  
 所在地 本 社 静岡県牧之原市鬼女新田588番地の1  
 展示場 静岡県牧之原市鬼女新田749-1  
 連絡先 tel. 0548-87-2236 fax. 0548-87-2237  
 E-mail satsuk-j@blue.ocn.ne.jp

事業規模 従業員 15名  
 延べ床面積 1522㎡  
 敷地面積 4046 ㎡ (本社 2419㎡・展示場 1627㎡)

事業内容 自動車整備・販売・钣金塗装・レンタカー貸出・損害保険代理店  
 フォークリフト検査業・整備・移動式クレーン検査業

環境管理責任者 四ノ宮 剛史

E A 2 1 事務局 後藤 真理子  
 連絡先 tel. 0548-87-2236 fax. 0548-87-2237  
 E-mail satsuk-j@blue.ocn.ne.jp

### ● 沿革

|           |                        |
|-----------|------------------------|
| 昭和47年5月   | さつき自動車創立 認証工場登録        |
| 昭和47年5月   | 損害保険業務開始               |
| 昭和62年11月  | 株式会社さつき自動車設立           |
| 平成 元年3月   | 指定工場登録                 |
| 平成10年 12月 | レンタカー業務開始              |
| 平成19年7月   | フォークリフト検査業者登録          |
| 平成21年4月   | エコアクション21 認定取得         |
| 平成30年10月  | 四ノ宮剛史 社長就任、四ノ宮 均 会長に就任 |



# 環境経営方針

## 企業理念

近年、自動車整備業界においては、二酸化炭素排出量の削減、排出ガスの低減や燃費の改善、環境汚染防止設備の導入、資源リサイクルの推進等、環境保全に対するニーズが拡大しており、この動向を踏まえ、人と環境にやさしいクリーンなメンテナンスをモットーに、自動車の環境防止整備への改革に取り組んでいます。従来の車検、点検はもちろんのこと、エコ車検、エコ整備に対し、全社員が真剣に取り組み、環境保全ニーズに対応した整備事業に力をいれ、地球環境の保全を進めてまいります。

## 環境理念

環境問題は、自動車整備・販売に携わる事業者として最重要課題です。二酸化炭素排出量、廃棄物排出量そして水使用量の削減に取り組みます。またエコ整備の普及・促進を通じて、燃料消費率向上による二酸化炭素排出量の削減や、排出ガスの清浄化により社会に貢献します。

## 環境行動方針

当社は、環境理念に基づき「地球環境を守ろう」をスローガンに、環境との共生・調和を最重要課題として認識し、自ら責任を持ち全従業員をあげて環境負荷の低減に配慮した活動に取り組みます。そのために、以下の「環境行動方針」を定めます。

- (1) 二酸化炭素排出量・削減の推進（自社における削減）  
事業所内の整理・整頓・清潔・清掃の4 S活動に留意し、事業活動に於ける電力・ガソリン・軽油などの削減による二酸化炭素排出量の低減に努めます。また社有車におけるエコドライブの実践やエコ整備（環境汚染防止整備）の普及・拡大を継続的に推進します。
- (2) 廃棄物排出量・削減の推進  
事業所から出る廃棄物を最小限にする努力をします。そのために、分別処理を推進します。
- (3) 総排水量・削減の推進  
事業所内で使用する使用水量の削減により、総排水量の削減に努めます。
- (4) エコ整備・エコ車検の推進（お客様における二酸化炭素の削減）  
自動車における燃費の向上による削減や、有害な排出ガスの削減を目指し、エコ整備（環境汚染防止整備）を強力に推進します。そのために、エコ整備の有用性についての説明技術やエコ整備技術の向上に努めます。また、燃費改善に向けエコノートの活用を推進します。グリーン購入法「特定調達品目」のエンジン洗浄を実施します。
- (5) リサイクル活動による省資源化の推進  
省資源のために、リサイクル自動車部品の使用を積極的に推進します。
- (6) 環境関連法規制等の遵守  
環境関連法規制等を遵守することを誓約します。

2008年7月2日改正  
2018年4月1日改正  
株式会社さつき自動車  
代表取締役 四ノ宮剛史

## エコアクション21、責任体制・実施体制・役割

### ●責任体制

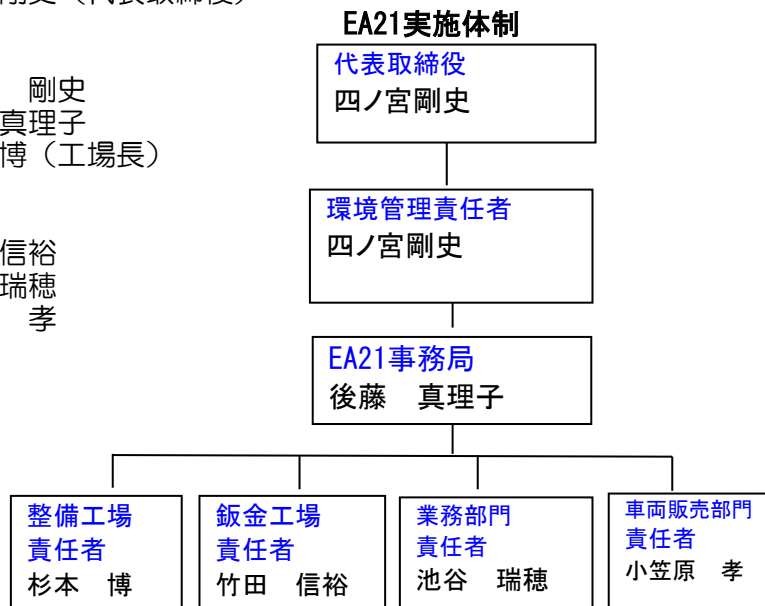
代表者

四ノ宮剛史（代表取締役）

環境管理責任者 四ノ宮 剛史  
E A 21事務局責任者 後藤 真理子  
整備工場部門責任者 杉本 博（工場長）

钣金工場部門責任者 竹田 信裕  
業務部門責任者 池谷 瑞穂  
車両販売部門責任者 小笠原 孝

### ●実施体制図



### ●役割

代表者： 四ノ宮 剛史

1. 環境管理責任者の任命
2. 環境方針の制定
3. エコアクション21 全体の評価と見直しの実施
4. 環境経営システムの実施および管理に必要な資源の準備
5. 社内情報の外部公開可否決定

環境管理責任者： 四ノ宮 剛史

1. 環境経営システムの確立、実施および維持するための処置
2. 代表者に対し、環境経営システムの有効性、取組状況の報告
3. 推進機関であるE A 21事務局の責任者として事務局運営
4. 必要な教育・訓練の計画・実施

E A 21事務局員： 後藤 真理子

1. 環境管理責任者を補佐し、従業員の全員参画によるEA21の運営改善を推進する。
2. EA21関連文書・記録の作成、改廃、伝達の業務を推進する。
3. 毎月の環境負荷データを整理し、従業員に発表できるように準備する。

### ●各項目の責任者

- |                |         |       |
|----------------|---------|-------|
| 1. 電力          | ・使用量管理者 | 後藤真理子 |
| 2. 灯油          | ・使用量管理者 | 青山 大介 |
| 3. 都市ガス        | ・使用量管理者 | 青山 大介 |
| 4. ガソリン        | ・使用量管理者 | 佐藤 正人 |
| 5. 軽油          | ・使用量管理者 | 佐藤 正人 |
| 6. 産業廃棄物       | ・管理者    | 竹田 信裕 |
| 7. 一般廃棄物       | ・管理者    | 小笠原 孝 |
| 8. 水使用量        | ・管理者    | 海野 竜也 |
| 9. エコ整備        | ・管理者    | 杉本 博  |
| 10. 自動車リサイクル部品 | ・管理者    | 竹田 信裕 |
|                | ・钣金塗装部門 | 竹田 信裕 |
|                | ・整備部    | 杉本 博  |
| 11. 紙使用量       | ・管理者    | 池谷 瑞穂 |
| 12. 化学物質       | ・管理者    | 海野 竜也 |



## 環境経営目標

### ●中長期環境経営目標

- ① 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量につき基準年度の実績から毎年1%削減する。
- ② エコ整備・中古部品・リビルト部品の台数については、基準年度の実績から毎年2%の増加とする。

### 2021年度以降の目標値

| 年間総量        |                           | 2020年度<br>(基準年) | 2021年度<br>(※-1%) | 2022年度<br>(※-2%) | 2023年度<br>(※-3%) |
|-------------|---------------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|
| 二酸化炭素排出量    | kg-CO <sub>2</sub>        | 88,795          | 87,907           | 87,019           | 86,131           |
|             | kg-CO <sub>2</sub> /100万円 | 485             | 480              | 476              | 471              |
| 電力          | kwh                       | 72,815          | 72,087           | 71,359           | 70,631           |
|             | kwh/100万円                 | 398             | 394              | 390              | 386              |
| ガソリン        | ℓ                         | 13,429          | 13,295           | 13,160           | 13,026           |
|             | ℓ/100万円                   | 73.4            | 72.6             | 71.9             | 71.2             |
| 軽油          | ℓ                         | 5,356           | 5,302            | 5,249            | 5,195            |
|             | ℓ/100万円                   | 29.3            | 29.0             | 28.7             | 28.4             |
| 灯油          | ℓ                         | 3,540           | 3,505            | 3,469            | 3,434            |
|             | ℓ/100万円                   | 19.3            | 19.2             | 19.0             | 18.8             |
| LPG         | k g                       | 212             | 210              | 208              | 206              |
|             | kg/100万円                  | 1.16            | 1.147            | 1.135            | 1.124            |
| 廃棄物排出量      | トン                        | 18.36           | 18.2             | 18.0             | 17.8             |
|             | トン/100万円                  | 0.100           | 0.099            | 0.098            | 0.097            |
| 水 使 用 量     | m <sup>3</sup>            | 1,271           | 1,258            | 1,246            | 1,233            |
|             | m <sup>3</sup> /100万円     | 6.95            | 6.88             | 6.81             | 6.74             |
| 化学物質使用量     |                           | 適正管理した          | 適正管理する           | 適正管理する           | 適正管理する           |
| エ コ 整 備     | 台                         | 437             | 446              | 454              | 472              |
| 中古部品・リビルト部品 | 個                         | 235             | 240              | 244              | 254              |
| 売上高         | 100万円                     | 183             |                  |                  |                  |



エンジン洗浄中



エコアース



チッソガス充填中

## 主要な環境経営計画の内容

### ●数値目標を達成するための取組

#### (1) 二酸化炭素排出量の削減

##### a) 電力の削減

- ① 室内エアコンは、夏26℃、冬は22℃を原則とする。
- ② 買い替え時には、省エネタイプの機器を導入する。
- ③ 昼休みの照明消灯による節電、未使用時の消灯、パソコンは極力待機電力とする。
- ④ 「節電」ステッカーを貼り節電意識の徹底を図る。



(工場内の天窓)



##### b) 灯油の削減

- ① 冬季の暖房用灯油は、室内温度により調整し室温に応じて消火する。

##### c) ガソリンの削減

- ① 社用車の省エネ運転の推進  
整備車両の引取り、納車時のエコドライブの徹底。
- ② 社用車の定期的整備の実施、燃料効率の悪化防止に努め、効率の向上を図る。
- ③ 社用車に省燃費に有効なエコ整備・エコ車検・エンジン洗浄を実施する。



##### d) 軽油の削減

- ① ディーゼルエンジンの社用車のエコドライブの徹底。
- ② 社用車の定期的整備の実施、燃料効率の悪化防止に努め、効率の向上を図る。
- ③ 社用車に省燃費に有効なエコ整備・エコ車検・エンジン洗浄を実施する。

#### (2) 廃棄物排出量の削減

分別を徹底する、再利用・再生利用の比率を上げ、削減に努める。

- ① 一般廃棄物：新聞紙はフロアーマットや塗装のマスキングに再使用する。
- ② 産業廃棄物：金属クズ、廃プラスチック、廃バッテリー、廃タイヤ、廃油の分別・再生利用化・熱回収化・資源化・裏紙の使用

#### (3) 水使用量（節水の取組）

- ① トイレ排水の削減に努める 水量の調整
- ② こまめに節水に努める。洗車時に流しっ放しで洗浄しない
- ③ 節水を促す為の啓蒙表示をする

#### (4) エコ整備の推進

- ① 説明用パンフレットを準備する。
- ② お客様にエコ整備の燃焼改善による二酸化炭素削減の説明と普及を図る。
- ③ グリーン購入法特定調達品目、エンジン洗浄の実践と普及を図る。



(5) 自動車リサイクル部品・使用の推進

- ① 部品見積りの時に新品とリサイクル部品の価格差を示す
- ② P R T R法対象外の環境に優しい塗料類・シンナー類を使用する。

(6) 整理・整頓・清掃・清潔（4 S）の推進

- ① まず整理（1 S）、「要らないものを捨てること」から始める。その結果、スペースが空く。その反面、廃棄物は増加するが、当面はやむを得ない。

(7) グリーン購入の推進

- ① 事務用品、事務用機器について環境配慮型商品の使用を推進する。

(8) 化学物質使用量

- ① 塗料類は環境に優しい物を使用する。 フロンガスは全量再利用していく。

●その他の取り組み事項

- ① 社員の環境への意識高揚のために定期的な研修会や会議を行う。

環境への取り組みを当社社員心得に明記し、朝礼時唱和することにより意識の顕在化を図る。

- ② 始業前、周辺道路の清掃を毎月実施している。





## エコ整備のご案内

### ●エコ整備の特徴

自動車の燃費を向上させ、自動車から出る排出ガスを減らし、愛車を環境に優しくするための整備です。

### エコ整備による効果

- (1) 有害な排気ガスCO、HC、NOxが大幅減少(約80%改善)
- (2) エンジンの燃焼率の改善により燃費の回復
- (3) システムの改善でパワー復元(加速レスポンスの向上)
- (4) アイドリングの安定、始動性の向上
- (5) 振動、エンジン音の減少
- (6) エンジン寿命の向上
- (7) ディーゼルエンジン車では、黒煙が減少(約50%改善)

### ●エコ整備の種類

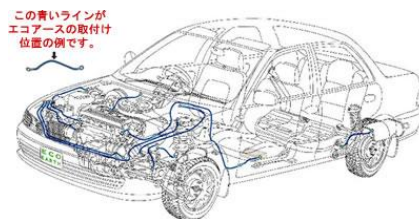
#### (1) エンジン洗浄(エンジン燃焼室内洗浄)

通常は分解整備を施さないと除去できないエンジンの燃焼室内に溜まった不完全燃焼の原因とされる煤(カーボン)等の有害な堆積物を、特殊な薬剤と機器を使用する事により短時間で取り除く事ができ燃焼効率を改善しエンジンを甦らせる作業です。

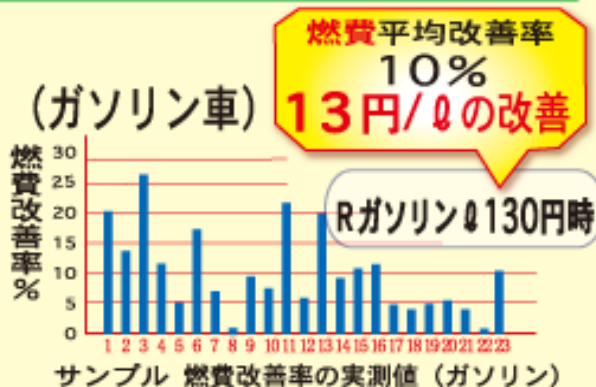


#### (2) エコアース配線

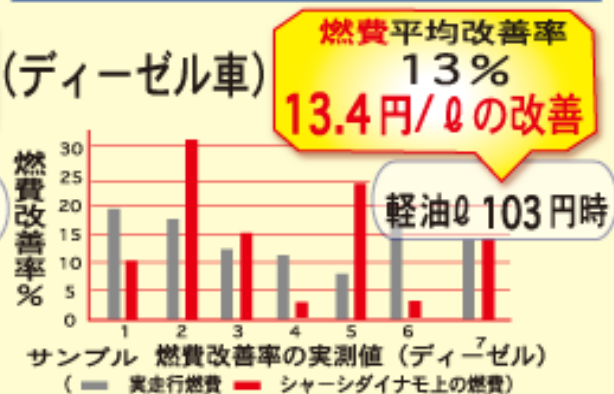
専用のアースコードで電気配線のマイナス回路をチューンナップすることにより、電動効率を上げ伝送機器の性能を最大限に引き出す事ができます。アース取付時には取付箇所を測定確認後、車種によって6~12本のアースコードを取り付けます。



### エンジン洗浄の燃費への効果 (ガソリン車)



### エンジン洗浄の燃費への効果 (ディーゼル車)



**エンジン洗浄で燃費大幅改善と二酸化炭素大幅の削減**

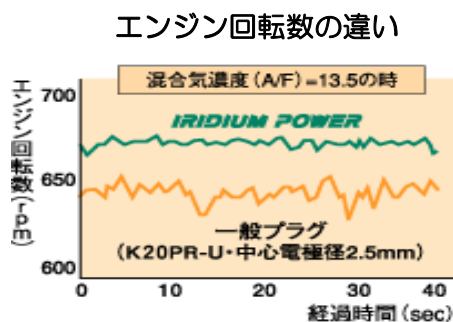
(3) タイヤ窒素ガス充填

空気の（活性ガス）の代わりに不燃性窒素ガス充填で性能を大幅に向上。窒素ガスは衝撃をダイレクトに伝達せず、熱膨張が少ないので走行時の振動が軽減され高速道路のコーナリング走行も安定します。また、分子構造が空気よりも大きい特徴があるため、タイヤの内圧をほぼ一定に保てるのでバースト予防やメンテナンスに便利です。

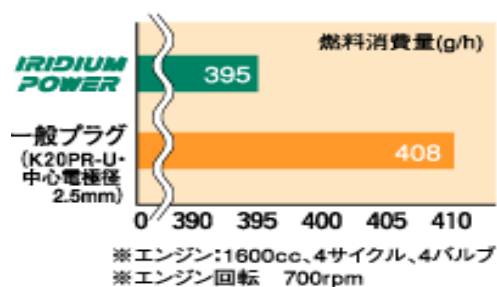


(4) イリジウムプラグ

中心電極に超高沸点貴金属材料の新イリジウム合金を採用することで、超極細径（0.4mm）の中心電極を実現。この超極細径により飛火電圧の減、着火性が大幅に促進され、エンジンの出力、加速レスポンスを最大限引き出します。



燃料消費量の違い



中心電極径の比較



(5) エコオイル

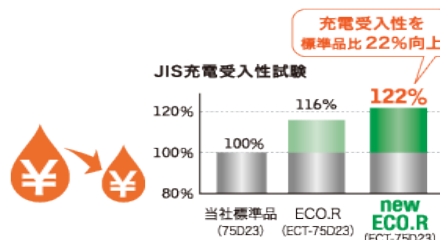
化学合成で製造しLLCと変わらない粘度で燃費向上と低排出ガス基準に適合したオイルです。

(6) エコタイヤ

タイヤの転がり抵抗の低減、軽量化などを図り、車の燃費向上による走行時のCO<sub>2</sub>排出量の削減に努め、環境、燃費向上に配慮した。

(7) エコバッテリー

マイナス極板のカーボン量最適化を図ることで充電。受入性を標準品に比べ122%に向上。約2%のCO<sub>2</sub>排出量削減・燃費向上効果を期待できます。



## 環境実績結果

### ●目標と結果

2023年度（2023年8月～2024年9月）の結果、目標、達成度

（目標：2020年度実績・・・－3%）

| 項 目         |                           | 2020実績<br>(基準値) | 2023目標 | 2023実績 | 削減率<br>又は<br>増加率 | 判定 |
|-------------|---------------------------|-----------------|--------|--------|------------------|----|
| 【二酸化炭素】     | kg-CO <sub>2</sub>        | 88,795          | 86,131 | 92,599 | 7.5%             | ×  |
|             | kg-CO <sub>2</sub> /100万円 | 485             | 471    | 501    | 6.3%             | ×  |
| 電力          | kwh                       | 72,815          | 70,631 | 75,142 | 6.4%             | ×  |
|             | kwh/100万円                 | 398             | 386    | 406    | 5.2%             | ×  |
| ガソリン        | ℓ                         | 13,429          | 13,026 | 12,945 | -0.6%            | ○  |
|             | ℓ/100万円                   | 73.4            | 71.2   | 70.0   | -1.7%            | ○  |
| 軽油          | ℓ                         | 5,356           | 5,195  | 6,426  | 23.7%            | ×  |
|             | ℓ/100万円                   | 29.3            | 28.4   | 34.7   | 22.4%            | ○  |
| 灯油          | ℓ                         | 3,540           | 3,434  | 4,039  | 17.6%            | ×  |
|             | ℓ/100万円                   | 19.3            | 18.8   | 21.8   | 16.4%            | ×  |
| LPG         | k g                       | 212             | 206    | 153    | -25.6%           | ○  |
|             | kg/100万円                  | 1.03            | 1.00   | 0.83   | -17.2%           | ○  |
| 廃棄物排出量      | トン                        | 18.4            | 17.81  | 7.72   | -56.7%           | ○  |
|             | トン/100万円                  | 0.100           | 0.097  | 0.042  | -57.1%           | ○  |
| 水使用量        | m <sup>3</sup>            | 1,271           | 1,233  | 1,323  | 7.3%             | ×  |
|             | m <sup>3</sup> /100万円     | 6.95            | 6.74   | 7.15   | 6.2%             | ×  |
| 化学物質使用量     |                           | 適正管理した          | 適正管理する | 適正管理した |                  | ○  |
| エコ整備        | 台                         | 437             | 472    | 276    | -41.5%           | ×  |
| 中古部品・リビルト部品 | 個                         | 235             | 254    | 191    | -24.7%           | ×  |
| 売上高         | 100万円                     | 183             |        | 185    |                  |    |

※ 1年間の目標は基準年度実績から－7%とした。

※ エコ整備・中古部品・リビルト部品の目標については、基準年度実績から＋8%とした。

※ 削減率又は増加率：〔（実測値－目標値）/目標値〕×100

※ 評価は、○：達成、×：未達成である。

※ 二酸化炭素排出係数は、電気事業者別排出係数（特定排出者の温室効果ガス排出量算定用）－令和5年度実績－H30.12.27環境省・経済産業省公表の中部電力㈱の調整後の値である0.472(kg-CO<sub>2</sub>/kwh)を使用

## 環境実績結果の評価

### ●評価と取組

#### 二酸化炭素排出量

目標に対し7.5%増加、原価率でも6.3%増加してしまった。  
増加してしまった項目の中で特に電力と燃料を強化し使用量を削減したい。

#### 電力

目標に対し6.4%増加、原価率でも5.2%増加し、基準値でも増加してしまった。  
要因は、古い電化製品や機械など消費電力が高い物を使用しているのも要因の一つ  
だと思う。

まず出来る事は、エアコンの室外機のカバーを付けてみる事から試してみる。  
そして、古い電化製品や機械の買い換えの見直しを考えてみたいと思います。

#### ガソリン

目標に対し0.6%、原価率では1.7%の削減に成功している。  
今後も持続していきたい。

#### 軽油

目標に対し23.7%、原価率でも22.4%増加してしまった。  
要因としては、トラックの入庫率が増加した為だと思う。  
代車に出す際、燃料は最低限にさせていただき、使った分だけ給油していただけるよ  
う、代車に貼紙をしてみる。

#### 灯油

目標に対し17.6%増加、原価率でも16.4%増加してしまった。  
要因は、トラックの入庫台数が増えている為スチーム洗浄の使用が多くなったと思う  
今まで通りムダのない使い方を心がける。

#### 廃棄物排出量

目標に対して56.7%減少、原価率でも57.1%減少したが 廃タイヤの処理が無かった為  
処理する月を決め毎年均等に処理していきたい。

#### 水使用量

目標に対し7.3%増加、原価率でも6.2%増加してしまった。  
要因は、灯油と同じでトラックの入庫台数が増えている為スチーム洗浄の使用が多くなっ  
たと思う。 今まで通り作業時間の短縮を心がける。

#### エコ整備

エコ整備も、リビルト・中古部品使用も目標には達成できなかったが、前年実績値よりわ  
ずかですが増えている為 今後もお客様に環境にやさしい整備を勧めていきたい。

#### 化学物質使用量

適正に管理することができた。これからも環境に配慮した塗料を多く使用していきたい。

### ●社員の意識高揚

環境理念、環境行動方針を毎朝の朝礼時と、毎月の会議で確認することにより、意識を高  
める様努める。継続することにより、意識高揚を図る。



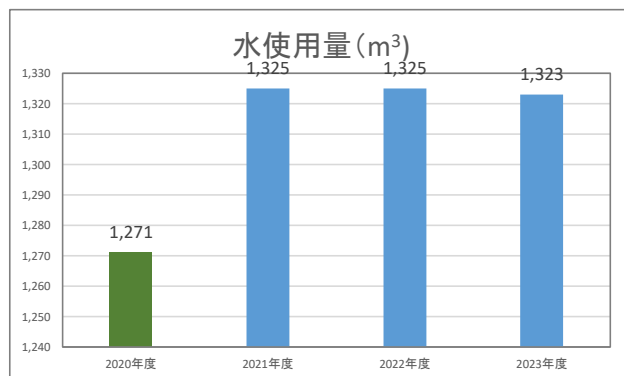
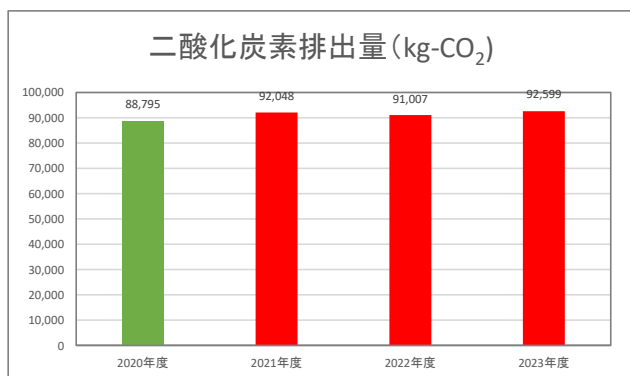


## 過去の実績結果(経年変化)

### ●過去3年間の実績結果

| 項目          |                            | 2020年度<br>【基準値】 | 2021年度<br>【実績値】 | 2022年度<br>【実績値】 | 2023年度<br>【実績値】 |
|-------------|----------------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 二酸化炭素排出量    | 総量 (kg-CO <sub>2</sub> )   | 88,795          | 92,048          | 91,007          | 92,599          |
|             | 百万円当たり                     | 480             | 514             | 476             | 501             |
|             | 基準値に対する年度比較割合(%)<br>【百万円当】 | 100%            | 107%            | 99%             | 104%            |
| 電力          | 総量 (kwh)                   | 72,815          | 80,972          | 74,780          | 75,142          |
|             | 百万円当たり                     | 394             | 452             | 392             | 406             |
|             | 基準値に対する年度比較割合(%)<br>【百万円当】 | 100%            | 115%            | 99%             | 103%            |
| ガソリン        | 総量 (ℓ)                     | 13,429          | 12,321          | 12,372          | 12,945          |
|             | 百万円当たり                     | 72.6            | 68.8            | 64.8            | 70.0            |
|             | 基準値に対する年度比較割合(%)<br>【百万円当】 | 100%            | 95%             | 89%             | 96%             |
| 軽油          | 総量 (ℓ)                     | 5,356           | 5,896           | 6,621           | 6,426           |
|             | 百万円当たり                     | 29.0            | 32.9            | 34.7            | 34.7            |
|             | 基準値に対する年度比較割合(%)<br>【百万円当】 | 100%            | 114%            | 120%            | 120%            |
| 灯油          | 総量 (ℓ)                     | 3,540           | 3,802           | 3,833           | 4,039           |
|             | 百万円当たり                     | 19.1            | 21.2            | 20.1            | 21.8            |
|             | 基準値に対する年度比較割合(%)<br>【百万円当】 | 100%            | 111%            | 105%            | 114%            |
| LPG         | 総量 (kg)                    | 212             | 187             | 126             | 153             |
|             | 百万円当たり                     | 1.15            | 1.04            | 0.66            | 0.83            |
|             | 基準値に対する年度比較割合(%)<br>【百万円当】 | 100%            | 91%             | 58%             | 72%             |
| 水使用量        | 総量 (m <sup>3</sup> /年)     | 1,271           | 1,325           | 1,325           | 1,323           |
|             | 百万円当たり                     | 6.87            | 7.40            | 6.94            | 7.15            |
|             | 基準値に対する年度比較割合(%)<br>【百万円当】 | 100%            | 108%            | 101%            | 104%            |
| 工コ整備        | 台                          | 437             | 332             | 254             | 276             |
| 中古部品・リビルト部品 | 個                          | 235             | 216             | 185             | 191             |
| 売上高         | 100万円                      | 185             | 179             | 191             | 185             |

※基準値に対する年度比較割合(%)：(実績値/基準値) × 100



## 環境経営計画の評価及び次年度の取組内容

次年度(2023年度)においても、2022年度の取組内容を継続的に実施すると共に、強化していく。

| 項目                     |            |   | 取組内容                                                                | 評価 | 次年度      |
|------------------------|------------|---|---------------------------------------------------------------------|----|----------|
| (1) 二酸化炭素排出量の削減        | a) 電力の削減   | ① | 室内エアコンは、夏26℃、冬は22℃を原則とする。                                           | ×  | 強化して継続実施 |
|                        |            | ② | 買い替え時には、省エネタイプの機器を導入する。                                             | —  | 継続実施     |
|                        |            | ③ | 昼休みの照明消灯による節電、未使用時の消灯、パソコンは極力待機電力とする。                               | ○  | 継続実施     |
|                        |            | ④ | 〔節電〕ステッカーを貼り節電意識の徹底を図る。                                             | ○  | 継続実施     |
|                        | b) 灯油の削減   | ① | 冬季の暖房用灯油は、室内温度により調整し室温に応じて消火する。                                     | △  | 強化して継続実施 |
|                        | c) ガソリンの削減 | ① | 社用車の省エネ運転の推進                                                        | ○  | 継続実施     |
|                        |            | ② | 整備車両の引取り、納車時のエコドライブの徹底。                                             | ○  | 継続実施     |
|                        |            | ③ | 社用車の定期的整備の実施、燃料効率の悪化防止に努め、効率の向上を図る。                                 | ○  | 継続実施     |
|                        |            | ④ | 社用車に省燃費に有効なエコ整備・エコ車検・エンジン洗浄を実施する。                                   | ○  | 継続実施     |
|                        | d) 軽油の削減   | ① | ディーゼルエンジンの社用車のエコドライブの徹底。                                            | △  | 継続実施     |
|                        |            | ② | 社用車の定期的整備の実施、燃料効率の悪化防止に努め、効率の向上を図る。                                 | ○  | 継続実施     |
|                        |            | ③ | 社用車に省燃費に有効なエコ整備・エコ車検・エンジン洗浄を実施する。                                   | ○  | 継続実施     |
| (2) 廃棄物排出量の削減          | ①          | ① | 分別を徹底する。再利用・再生利用の比率を上げ、削減に努める。                                      | ○  | 継続実施     |
|                        | ②          | ② | 一般廃棄物：新聞紙はフロアーマットや塗装のマスキングに再使用する。                                   | ○  | 継続実施     |
|                        | ③          | ③ | 産業廃棄物：金属クズ、廃プラスチック、廃バッテリー、廃タイヤ、廃油の分別・再生利用化・熱回収化・資源化・裏紙の使用           | △  | 強化して継続実施 |
| (3) 水使用量（節水の取組）        | ①          | ① | トイレ排水の削減に努める。水量の調整を図る。                                              | ○  | 継続実施     |
|                        | ②          | ② | こまめに節水に努める。洗車時に流しっ放しで洗浄しない。                                         | △  | 強化して継続実施 |
|                        | ③          | ③ | 節水を促す為の啓蒙表示をする。                                                     | ○  | 継続実施     |
| (4) エコ整備の推進            | ①          | ① | 説明用パンフレットを準備する。                                                     | △  | 継続実施     |
|                        | ②          | ② | お客様にエコ整備の燃焼改善による二酸化炭素削減の説明と普及を図る。                                   | ○  | 継続実施     |
|                        | ③          | ③ | グリーン購入法特定調達品目、エンジン洗浄の実践と普及を図る。                                      | △  | 継続実施     |
| (5) 自動車リサイクル部品・使用の推進   | ①          | ① | 部品見積りの時に新品とリサイクル部品の価格差を示す。                                          | ○  | 継続実施     |
|                        | ②          | ② | P R T R法対象外の環境に優しい塗料類・シンナー類を使用する。                                   | ○  | 継続実施     |
| (6) 整理・整頓・清掃・清潔（4S）の推進 | ①          | ① | まず整理（1S）、「要らないものを捨てること」から始める。その結果、スペースが空く。その反面、廃棄物は増加するが、当面はやむを得ない。 | ○  | 継続実施     |
| (7) グリーン購入の推進          | ①          | ① | 事務用品、事務用機器について環境配慮型商品の使用を推進する。                                      | ○  | 継続実施     |
| (8) 化学物質使用量            | ①          | ① | 塗料類は環境に優しい物を使用する。フロンガスは全量再利用していく。                                   | ○  | 継続実施     |
| その他の取り組み事項             | ①          | ① | 社員の環境への意識高揚のために定期的な研修会や会議を行う。                                       | ○  | 継続実施     |
|                        | ②          | ② | 環境への取り組みを当社社員心得に明記し、朝礼時唱和することにより意識の顕在化を図る。                          | ○  | 継続実施     |
|                        | ③          | ③ | 始業前、周辺道路の清掃を毎月実施している。                                               | ○  | 継続実施     |

※評価→○印：実施することが出来た、△印：やや未実施の状況が散見された、×印：実施出来なかった（実施不十分）、—印：買い替え無し

## 次年度(2024年度)以降の環境経営目標

### ●中長期環境経営目標

- ① 二酸化炭素排出量、廃棄物排出量につき基準年度の実績から毎年1%削減する。
- ② エコ整備・中古部品・リビルト部品の台数については、基準年度の実績から毎年2%の増加とする。

### 2024年度以降の目標値

| 年間総量        |                           | 2020年度<br>(基準年) | 2024年度 | 2025年度 | 2026年度 | 2027年度 | 2028年度 |
|-------------|---------------------------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|
|             |                           |                 | (※-4%) | (※-5%) | (※-6%) | (※-7%) | (※-8%) |
| 二酸化炭素排出量    | kg-CO <sub>2</sub>        | 88,795          | 85,243 | 84,355 | 83,467 | 82,579 | 78,424 |
|             | kg-CO <sub>2</sub> /100万円 | 485             | 466    | 461    | 456    | 451    | 429    |
| 電力          | kwh                       | 72,815          | 69,902 | 69,174 | 68,446 | 67,718 | 64,310 |
|             | kwh/100万円                 | 398             | 382    | 378    | 374    | 370    | 351    |
| ガソリン        | ℓ                         | 13,429          | 12,892 | 12,758 | 12,623 | 12,489 | 11,860 |
|             | ℓ/100万円                   | 73.4            | 70.4   | 69.7   | 69.0   | 68.2   | 64.8   |
| 軽油          | ℓ                         | 5,356           | 5,142  | 5,088  | 5,035  | 4,981  | 4,730  |
|             | ℓ/100万円                   | 29.3            | 28.1   | 27.8   | 27.5   | 27.2   | 25.8   |
| 灯油          | ℓ                         | 3,540           | 3,398  | 3,363  | 3,328  | 3,292  | 3,127  |
|             | ℓ/100万円                   | 19.3            | 18.6   | 18.4   | 18.2   | 18.0   | 17.1   |
| LPG         | kg                        | 212             | 204    | 201    | 199    | 197    | 187    |
|             | kg/100万円                  | 1.16            | 1.11   | 1.10   | 1.09   | 1.08   | 1.02   |
| 廃棄物排出量      | トン                        | 18.4            | 17.6   | 17.4   | 17.3   | 17.1   | 16.2   |
|             | トン/100万円                  | 0.100           | 0.096  | 0.095  | 0.094  | 0.093  | 0.089  |
| 水使用量        | m <sup>3</sup>            | 1,271           | 1,220  | 1,207  | 1,195  | 1,182  | 1,123  |
|             | m <sup>3</sup> /100万円     | 6.95            | 6.67   | 6.60   | 6.53   | 6.46   | 6.13   |
| 化学物質使用量     |                           | 適正管理した          | 適正管理する | 適正管理する | 適正管理する | 適正管理する | 適正管理する |
| エコ整備        | 台                         | 437             | 472    | 481    | 489    | 498    | 547    |
| 中古部品・リビルト部品 | 個                         | 235             | 254    | 259    | 263    | 268    | 294    |
| 売上高         | 100万円                     | 183             |        |        |        |        |        |

## 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### ●適用となる主な環境関連法規

対象期間：2023年9月～2024年8

月評価日：2024年12月1日

評価者：後藤 真理子

| 主な適用法規等              | 該当事項                                  | 遵守状況 |
|----------------------|---------------------------------------|------|
| 環境基本法                | 国の環境施策等への協力                           | ○    |
| 静岡県環境基本条例            | 県の環境施策等への協力                           | ○    |
| 地球温暖化対策法             | 国の地球温暖化防止施策等への協力                      | ○    |
| 静岡県地球温暖化対策法          | 県の地球温暖化防止施策等への協力                      | ○    |
| 循環型社会形成推進基本法         | 3Rの推進                                 | ○    |
| 廃棄物の処理及び清掃に関する法律     | 廃棄物の適正保管、適正処理                         | ○    |
|                      | マニフェストの管理・保管・報告                       |      |
| 静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例 | 廃棄物管理責任者の設置                           | ○    |
|                      | 処分施設の実地確認                             |      |
| フロン排出抑制法             | エアーコンディショナーの簡易点検の実施                   | ○    |
|                      | 自動車整備時のフロンの漏洩防止                       |      |
| 消防法                  | 消火設備の設置、維持管理、危険物の取扱と保管（指定数量の1／5未満で管理） | ○    |
| 使用済自動車の再資源化に関する法律    | 使用済自動車の適正な処理（引取業者）                    | ○    |
| 特定家庭用機器再商品化法         | 使用済電気冷蔵庫、洗濯機、テレビ、空調機                  | ○    |
|                      | 等適正処理                                 |      |
| 騒音規制法                | 空気圧縮機2台届出済み                           | ○    |
|                      | 規制基準値の遵守                              |      |
| 振動防止法                | 空気圧縮機2台届出済み                           | ○    |
|                      | 規制基準値の遵守                              |      |
| 悪臭防止法                | 規制基準 臭気指数15の遵守                        | ○    |

### ●違反、訴訟等

環境関連法規への違反や訴訟はありません。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありません。法規の遵守状況をチェックし、問題がありません。また、苦情等もありませんでした。



## 代表者による全体の評価と見直し結果

### (1) 全体の評価

今年度も資源やエネルギー価格の高騰により、大変厳しい状況が続きました。一部では緩やかな回復基調がみられますが、自動車業界ではコロナ禍での販売不振が今後の車検・点検の入庫台数に影響することから、引き続き厳しい状況が予想されます。目標設定については状況、活動に応じ適正なものになるよう、見直しを進めてまいります。これからも業務を通じた社会貢献活動や地域行事などに積極的に参加し、環境保全に取り組んでまいります。

### (2) 見直し結果

- ① 電力、燃料は二酸化炭素排出量に大きく影響している為、もう少し強化していきたい。消費電力量の高い電化製品や機械の見直しや、代車の燃料費をどう減らしていくか社員全員で話し合い強化していきたい。
- ② 灯油使用量と水使用量については、目標を上回ってしまった。要因はトラックの車検入庫率が年々 3% ずつ増加している為、スチーム洗浄の使用が増加したと思われる。前向きな増加としておりますが、今後も作業時間の短縮を心がけていきます。
- ③ 廃棄物排出量は目標を達成できているが、タイヤの処分が定期的にできていないため、廃タイヤ置場が大量になり安全面や環境にも悪いので定期的な処分を担当者に徹底させる。
- ④ エコ整備、リビルト・中古部品使用は、目標を達成できませんでしたが、昨年の実績値よりはわずかですが増えているので少しずつでも増やせるよう、接客技術の勉強会など取り組んでいきたい。
- ⑤ 塗料等の化学物質量については、適正に管理することができた。使用量を減らすことは難しいが、在庫管理を強化しムダをなくしていきたい。

2024年12月1日  
株式会社さつき自動車  
代表取締役 四ノ宮剛史